

大学院医学研究科博士課程 研究指導年間スケジュール

I. 指導体制とスケジュールについて

1. 趣旨

4年間の在学年限内に学位論文を提出し、論文審査に合格し、博士の学位を取得できる指導体制を次のようにする。指導教員は1名（学位取得の助教以上であること）とし、指導教授とともに相互に綿密な連携を取りつつ適切な指導体制を組織する。

2. 学年次ごとのスケジュール

下記に基本的なスケジュールを示す。

1) 第1年次

- 4月 指導教授による研究指導担当教員の割振り
- 5月～6月 研究指導教員との研究計画立案と研究計画書作成提出
- 7月～8月 第2学年以上の研究成果発表会（前期）の聴講
- 1月～2月 研究経過報告発表抄録の提出と研究経過報告発表 ※1
- 3月 研究進捗状況報告書の提出

2) 第2年次

- 4月 指導教授による研究指導担当教員の割振り
- 5月～6月 研究指導教員との研究計画立案と研究計画書作成提出 ※2
- 7月～8月 研究成果発表会抄録発表抄録の提出と研究成果発表会（前期）
- 1月～2月 研究成果発表会抄録発表抄録の提出と研究成果発表会（後期） ※3
- 3月 研究進捗状況報告書の提出

3) 第3年・第4年次

- 4月 指導教授による研究指導担当教員の割振り
- 5月～6月 研究指導教員との研究計画立案と研究計画書作成提出
- 7月～8月 研究成果発表会抄録の提出と研究成果発表会（前期） ※4
- 1月～2月 研究成果発表会抄録の提出と研究成果発表会（後期） ※5
- 3月 研究進捗状況報告書の提出

※1 本人の希望により研究成果発表として審査判定を行うこともできる。

※2 前年度研究計画の見直しおよび、研究計画の変更等による。

※3～5 前回発表で審査終了した者は再度発表の必要はない。

II. 研究計画書と研究経過報告・研究成果発表会について

1. 研究計画書の作成

1) 様式

- ・各自、医学研究科ホームページより書式をダウンロードし作成する。
- ・大学院生と指導教員による研究指導計画書を作成のうえ、指導教授・指導教員・大学院生それぞれ捺印のうえ、提出期日までに学務部医学事務課へ提出する。
- ・A4サイズ1枚に収まるように作成する。

2) 提出期限・提出場所・提出部数

- ・提出期限：学務部医学事務課より指定された期日
- ・提出場所：学務部医学事務課（新講義実習棟4階）
- ・提出部数：1部

3) 研究計画書の構成

研究計画書は概ね以下の内容で構成されるものとする。

(1) 研究題目

具体的な研究題目の紹介

(2) 研究計画と研究方法の概要

研究の背景、研究の目的・意義、研究の方法、期待される研究成果など

(3) 研究指導計画

(4) その他

研究倫理（「人を直接対象とする研究」は研究倫理審査を受けること）

2. 研究経過報告・研究成果発表会の開催

- ・発表会は、原則として7月下旬および1～2月に開催する。
- ・発表時間は一人10分とし、10分の質疑応答・意見交換を行う。
- ・発表は原則としてパワーポイントを用いる。
- ・研究経過報告・研究成果発表会には本学医学部教員および学生等、医学研究科関係者は参加できる。

1) 研究経過報告

(1) 目的

大学院第1学年の終りに各自が研究のテーマや方向性について考え、次年以降の研究計画の具体化に役立てる機会とする。

(2) 実施方法

- ・1～12月の統合講義にて行う。
- ・評価は行うが、「審査終了」の判定は行わない。
- ・口頭発表：発表10分、質疑応答10分とする。
- ・発表内容：研究の「背景」「目的」を中心に発表する。「計画」「準備」等が進んでいれば発表も可とする。
- ・発表者からの質問、審査員からの提案の場とする。
- ・本人が希望すれば、「研究成果発表会」として扱い、「審査終了」の判定を行う。

(3) 評価項目

- ① 研究課題の背景についての理解度
- ② 研究の目的と意義についての理解度
- ③ 研究計画と研究手法についての理解度と妥当性
- ④ 研究の準備（症例・試料の収集、実験・測定技術習得など）・進捗（データの取得）状況

2) 研究成果発表会

(1) 目的

- ・大学院第2学年～第4学年の7月下旬までに、各自の研究成果を発表する。
- ・発表の時期は各自の判断に委ねる。

(2) 実施方法

- ・7月下旬の統合講義または、1～2月の統合講義にて行う。
- ・発表形式は第1学年の「研究経過報告」と同様とする。
- ・評価を行い、「審査終了」の判定を行う。
- ・学位審査までに「審査終了」となっていること。
- ・「審査終了」後に研究題目が変更されても、再度発表の必要はない。

(3) 評価項目

- ① 研究課題の背景、研究の目的と意義についての理解度
- ② 研究計画と研究手法についての理解度と妥当性
- ③ 研究の準備（症例・試料の収集、実験・測定技術習得、機器・設備など）状況
- ④ 研究の進捗（データの取得）状況